

1. 次の文を中国語に翻訳せよ。(50%)

寒い冬が北方から、狐の親子の棲んでいる森へもやって来ました。

或朝洞穴から子供の狐が出ようとしたのですが、「あっ」と叫んで眼を抑えながら母さん狐のところへころげて来ました。「母ちゃん、眼に何か刺さった、ぬいて頂戴早く早く」と言いました。

母さん狐がびっくりして、あわてふためきながら、眼を抑えている子供の手を恐る恐るとりかけて見ましたが、何も刺さってはいませんでした。母さん狐は洞穴の入口から外へ出て始めてわけが解りました。昨夜のうちに、真白な雪がどっさり降ったのです。その雪の上からお陽さまがキラキラと照していたので、雪は眩しいほど反射していたのです。雪を知らなかった子供の狐は、あまり強い反射をうけたので、眼に何か刺さったと思ったのでした。

子供の狐は遊びに行きました。真綿のように柔らかい雪の上を駆け廻ると、雪の粉が、しぶきのように飛び散って小さい虹がずっと映るのでした。

すると突然、うしろで、「どたどた、ざーっ」と物凄い音がして、パン粉のような粉雪が、ふわーっと子狐におっかぶさって来ました。子狐はびっくりして、雪の中にくろがるようにして十米も向こうへ逃げました。何だろうと思ってふり返って見ましたが何もいませんでした。それは樅の枝から雪がなだれ落ちたのでした。まだ枝と枝の間から白い絹糸のように雪がこぼれていました。

【新美南吉「手袋を買いに」より抜粋】

2. 請將下列中文翻成日文。(50%)

小時候，去天文館或科博館欣賞立體電影是種新奇的體驗，只要戴上特製眼鏡，就能在短短數十分鐘內，飛入太空、鑽研天體群星的奧秘；也能輕鬆穿越時光隧道、悠遊於遠古時期的侏羅紀叢林。

這種神迷目眩的觀影經驗，如今已跨出博物館、走入電影院，觀眾只需付出稍高代價（美國的 3D 電影票價約為 12~20 美元、台灣則為新台幣 340~400 元），就能欣賞到這種強調感官經驗的新型態電影。

光是在世界最大電影工廠的好來塢，根據統計，今年至少就有 12 部 3D 電影上映，明年則可能增加至 28 部。而除了濫觴地好來塢之外，包括兩岸三地及日、韓等國，都看好「3D=話題+票房」的前景，紛紛加碼投資，企圖重新吸引原本已習慣窩在家裡看電視或上網下載影集的觀眾，重返大螢幕的行列。

「3D 電影熱」方興未艾，它會不會迅速衍生為專家預測的「一種生活方式」，並全面取代現有的 2D 平面電影？而這一波 3D 狂潮和半世紀前有何差異？是否仍暗藏隱憂？對於電影工作者來說，在藝術創作與新科技間，又該走向什麼樣的平衡呢？

【擷取自一台灣光華雜誌(2010 年 9 月)】